

【高等教育研究部門】 研究代表者：清水 紀宏

GIGAスクール構想に対応したICT活用指導力の育成プログラム開発

研究の概要

◆**課題認識** GIGAスクール構想に対応したICT活用指導力の育成が急務となっている。本学においても、将来的にはカリキュラムの中で体系的にその育成を行っていく必要がある。しかしながら、現状ではICT活用指導力の育成に関する取り組みが体系的に実施されているとは言えず、具体的な方策について検討できていない状況がある。

◆**研究の目的** 宗像市育委員会と連携し、GIGAスクール・サポート活動の推進を通じて、ICT活用等に関する教員支援プログラムを開発・実行する。

◆**研究の方法** 宗像市立日の里東小学校でのGIGAスクール・サポーター（有償ボランティア）活動を中核にした体験型の活動を組み込んだプログラムを計画・実施する。プログラムのコンテンツなどの開発を行う。

研究のポイント・成果

◆研究のポイント

（1）**実地研修を含んだプログラム**：実技課題、授業実践、GIGAスクール支援（実地）、修了検定からなる学校での実践を柱とした養成カリキュラムを策定し、より実践的なICT活用指導力が育成されるようなプログラムを作成した。試行的にGIGAスクール・サポーター資格の認定制度を仮設・運用し、23名の学生の資格認定を行った。

※緊急事態宣言等によりボランティア活動を制限された期間が長く十分に実践を展開することができなかった。

（2）**学生を中心にした活動**：学生マネージャーを中心に活動を展開し、GIGAスクール支援（実地）での学生の経験で得られた気づき等を即時的にプログラムに反映させた。

※実施に際しては、本学学生支援ネットワークCOMES Netが中心的な役割を果たし、協力校との調整などにおいて重要な役割を果たした。

◆成果

教育委員会・小学校と連携して、実地での支援活動を柱としたICT活用指導力の入門的・基礎的な育成プログラムを開発することができた。

令和3年12月
福岡教育大学認定資格が登場
時代を見据えた技能を身に付けよう

福岡教育大学認定資格
GIGAスクール・サポーター資格
GIGA School Supporter

これからの学校教育現場に
必須の知識とスキルを身に付けて
教員採用試験でもアピールしよう！

本学指定養成カリキュラム
監修 教育総合研究所専任教員 准教授 高良 祐治
(実施主体 学生支援ネットワークCOMES Net)

【実技課題】
ICT機器活用実技課題（計4回分）修了
1) クラスルームの作成・招待
2) ストリームへの投稿とGoogleスライドの活用
3) Google フォームの活用
4) テストの作成

【授業実践】
ICT活用授業 実践ワークショップ 参加
（内容）Jam boardの活用・授業づくり

【環境支援】
GIGAスクール支援への参加時間30時間以上
（派遣先）宗像市立日の里東小学校

【修了検定】
選択式・記述式試験
（内容）学びの振り返り・アプリケーションの基礎

国立大学法人福岡教育大学
学生支援ネットワークCOMES Net

認定証発行元 福岡教育大学教育総合研究所
共同開発 教育心理ユニット教授 生田 淳一
坂村太智・山下 悠斗 (COMES Net)
開発協力 岩永 唯加・田中万梨奈 (COMES Net)

今後の課題

◆GIGAスクール構想に対応したICT活用指導力の育成プログラムの運用に向けて

小学校での活動を中核にした体験型の活動を位置付けたことで、より実践的なプログラムとすることができた。しかしながら、協力校との調整など、課題も多かった。将来的にたとえば単位化を行うといった際には、いつ、どこで、誰がどのようにマネジメントしていくのかについて十分議論しシステム化しておく必要があるだろう。今回の取り組みでは学生のマネージャーが活躍し、学生主体の活動（課外活動）という点では非常に優れた実践となった。当面は、GIGAスクール・サポーターをボランティア活動として継続・展開することで、学生の力量アップと地域社会への貢献につなげていきたい。